

報告資料4

参 考 資 料

令和6年11月28日

知事答弁要旨記録（速報であり公式の記録ではありません。）

問合せ先 医療整備・人材課 保健医療人材担当課長 伊東 電話210—4742

令和6年11月28日（木）

田中 徳一郎議員（会派 自民党） 本会議 代表質問

（質問要旨）

- 看護職員の人材確保について
（以下質問要旨については、記載を省略）

（知事答弁）

次に、看護職員の人材確保についてです。

県ではこれまで、看護職員を養成する施設の開設や運営に対して補助を行うほか、院内保育施設の運営支援、業務を補助する機器の導入支援など、様々な取組を行ってきました。

こうした中で、本県の看護職員数は令和4年までの10年間で約1万6千人増加し、全国第5位の増加率となりましたが、人口あたりの人数は依然として全国平均を大きく下回っている状況です。

そこで県では、これまでの取組をさらに強化するとともに、県内で働く魅力を高める「地域看護師」の育成を進めていきます。

これは、病院や介護施設など、地域の多様な施設での勤務を通じて人材育成を行う、本県独自の取組であり、今年3月には関係団体と連携し、労務管理等のポイントをまとめたガイドブックを作成したところです。

今後、県内の多くの地域でこうした取組が構築されるよう、必要な支援を検討していきます。

また、看護職員の確保をさらに促進するためには、給与などの収入の観点も重要です。そこで県では、県看護協会などの意見も伺いながら、看護職員のさらなる処遇の改善に向けて、診療報酬等における配慮を行うよう、国に対して働きかけてまいります。

令和 7 年 2 月 21 日

健康医療局長答弁要旨記録（速報であり公式の記録ではありません。）

問合せ先 医療整備・人材課 伊東保健医療人材担当課長 電話 2 1 0—4 7 4 2

令和 7 年 2 月 21 日（金）

市川 さとし議員（会派 立憲民主党・かながわクラブ） 本会議 一般質問

（質問要旨）

2 県民の安全・安心を守る取組について

（1）看護職員のさらなる確保に向けた若者への広報について

（以下質問要旨については、記載を省略）

（健康医療局長答弁）

看護職員のさらなる確保に向けた若者への広報についてです。

県では、中学生や高校生が将来の進路を考える参考となるよう、看護の仕事や資格を取得する方法などを具体的に紹介した冊子「やさしさがキャリアになる」を作成し、ホームページにも掲載しています。

また、県内に 44 ある看護師養成校では、オープンキャンパスや学園祭といった様々な機会をとらえて、若者に看護職の魅力を発信してきました。

一方、少子化の進展に伴い、こうした養成校の受験者も減少傾向にあることから、さらなる取組が必要と考えています。

そこで県では、今年度、中・高生向けの冊子「やさしさがキャリアになる」を 10 年ぶりに全面リニューアルし、多くの写真とともにデザインを一新するなど、患者に寄り添いつつ、自分自身も成長していく看護職のやりがい、一目で分かるようにしました。

さらに、この冊子の内容にすぐにアクセスできる二次元コードを掲載したリーフレットを、新たに作成し、進路を考え始める県立高校の 2 年生、約 4 万人に配布したところです。

来年度は、この取組を拡大し、私立学校等も含めた約 7 万人の高校 2 年生に配布するとともに、多くの若者の目にふれるよう、電子データでも配信していきたいと考えています。

今後も引き続き、看護師養成校や関係団体と緊密に連携し、看護師を目指す若者が増加するよう、着実に取り組んでまいります。